

タイトル：第7回 2017年10月4日（水）『税・財政ゼミナール』開講しました

2017年10月4日（水）第7回『税・財政ゼミナール』が開講されました。

今回のテーマは『谷山治雄論攷集』より

- ① 高齢化社会の税財政問題を考える視点
- ② ブキャナン教授とマスグレイブ教授の論争

の2つです。

- ① では1996年の谷山治雄の論考を元に、高齢化社会と社会保険費や国民負担の予測について議論しました。高齢化社会が本当に消費税増税に繋がるのか、約20年前の資料と現在、また諸外国とも比較し、活発に議論が行われました。
- ② では1997年に開催された「第53回国際財政学会世界大会」におけるブキャナン教授（アメリカ）とマスグレイブ教授（ドイツ）の論争についてです。ブキャナン教授の一般的政策を主張し、選別的政策を拒否する考えは、「福祉国家とは何か」という考えと矛盾しているとするマスグレイブ教授側の主張を中心に報告が行われました。

第8回『税・財政ゼミナール』の日程は以下の通りです。

日時：2018年4月3日 15：00～17：00

会場：東京都新宿区三栄町9番地 税研ビル2階

応募：事前に電話にて参加の旨をお知らせください

TEL 03-3359-4731 （担当者：矢部）

※テーマ等最新の情報は当ホームページ上でご確認下さい。

税や財政に関して少しでも興味のある方、税や財政について知りたいと思われている方は、是非ご連絡をお願いいたします。